(別紙2) くじの方法

開札の結果、落札となるべき価格の入札をした者が2者以上あるときは、「くじ」により落札者を決定します。手順は以下のとおりとします。

1 入札書の「くじ入力番号」欄に任意の値を記入

入札参加者は、くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ入力番号」欄にあらかじめ任意の3桁の値(000~999)を記入してください。

なお、正しく記入がなされていない場合は、「000」の数値が記載されたものとみなします。

2 くじの手順

(1) 落札となるべき価格の入札をした者について、業者登録の際に各業者に割り当てている業者番号(1)の小さい順(2)に「0, 1, 2, ...」と番号を割り当てます。

1 「60...」から始まる10桁の番号。

2 登録の種別が工事、コンサル、物品等と3種類あり、かつ同一業者が複数の種別に登録している場合があるので、くじの際は、「開札日現在登録している種別の業者番号のうち、小さい方の業者番号」を採用します。

(例) 工事で現在登録している業者番号...「6010000001」

物品等で現在登録している業者番号...「6030000001」

くじの際は「6010000001」を採用します。

過去に登録があっても、現在登録していない種別での業者番号は採用しません。

(2) 落札となるべき価格の入札の入札書に記載されたくじの数値を合算し、その合計額を入札書の数で除算し、余りを算出する。

(3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)の番号の入札参加者を落札者とする。

(例) 入札参加者中、3者が落札となるべき価格の入札をした場合

(1) 業者番号の小さい順に番号を付与する。

A社(業者番号6010000001)...番号0

B社(業者番号6010000002)...番号1

C社(業者番号6010000003)...番号2

(2) くじの数値を合算し、入札書の数で除算し、余りを算出する。

A社(業者番号6010000001)...(くじ番号153)

B社(業者番号6010000002)...(くじ番号041)

C社(業者番号6010000003)...(くじ番号845)

合計を計算 $153 + 041 + 845 = 1,039$

余りを算出 $1,039 \div 3 = 346...余り1$

(3) (2)の計算結果による余りと一致した(1)の番号の入札参加者を落札者とする。

余りの1と一致するB社を落札者とする。